

会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第3回産学連携推進員育成講座開発委員会
開催日時	令和7年10月15日(水) 15:00~17:00
場所	ビジョンセンター西新宿
出席者	委員：柳田 祐大、森川 和哉、石田 哲也、伊藤 政幸 委員OL：三村 隆男、林 透、土井 宏美、久代 英俊 計8名 オブザーバ：岡村 慎一、加藤 猛(全専研事業責任者) 計2名 請負業者：飯塚 正成 計1名 合計11名
議題等	<p>1. 開催概要</p> <p>本委員会は、令和7年度産学連携推進員育成講座(基礎編および11月開催予定の上位編)に向け、研修内容、認定方法、教材作成進捗、案内手続き、役割分担の最終調整を目的として開催した。</p> <p>2. 11月実施「産学連携推進リーダー(上位編)」に関する協議</p> <p>(1) 方向性の最終確認</p> <p>柳田委員長より「画面に表示している方針に沿って11月講座を実施する」と説明があり、委員間で大きな方向性の合意が確認された。</p> <p>(2) 認定方法(終了認定/認定資格)の議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月講座修了後の位置づけについて議論が行われた。 ・「リーダーとして認定する」という表現の妥当性、「終了認定」と「正式な認定資格付与」のどちらが適切か、 ・認定のハードル設定は受講者に過度な負担を与えないか、 ・評価方法は講座の目的に適合するか、など複数の論点が示された ・最終的には、今回の講座では「終了認定」方式を採用することで合意した。 ・委員からは「認定とするとハードルが上がるため段階的にするのが望ましい」との意見があり、講座修了者の成長を促す観点から、まずは終了証を付与し、その後の実践状況に応じて段階的な認定制度の検討を行う方向性が確認された。

(3) 提出物・評価方法

- ・ 終了認定に必要な提出物については、
 - ▶理解度を測る簡易アンケートまたは評価フォーム
 - ▶講座の学習成果を反映した短いレポートを提出してもらい、次回委員会で共有する方針とした

3. 11月講座の案内・対象者について

(1) 案内文書の準備

柳田委員長より、11月講座の案内文書はすでに作成済みであり、リンクで共有できる状態にあると報告された。森川副委員長およびキャリアリンクの両名にも確認を依頼済みで、文書内の記載内容・流れは完成している。

(2) 対象者の限定案内（一本釣り方式）

- ・ 前は広く周知したが、今回の上位編は 特定メンバーを選抜して案内する方式 に変更することが説明された。
- ・ 対象者は約 29 名程度で、この中から 10～12 名の参加者を確保する予定。
- ・ 案内は個別メールで行う。
- ・ 上位編では自校展開やファシリテーション能力など、より高度な内容を扱うため、基礎編受講済み、または現場で産学連携を担当している教職員を中心に参加者を選抜する必要があるとの説明がなされた。

4. 教材作成と進行スライドの進捗

(1) 教材の現状

- ・ 教材作成の進捗について柳田委員長から報告。
- ・ 現在、スライドやワークシートの 構成骨子は完成しつつある。ただし、講座内容と完全に連動しない案が一部あり、使用を見直す必要がある。
- ・ 現在、講座全体の流れに即した評価項目・指標を再検討していると説明。

(2) 全体像の把握と確認方法

途中まで作成した進行スライドは提示可能ではあるものの、部分的な確認では全体像が伝わらないため、現段階では共有を控え、完成後に改めて提示するとの方針が示された。

	<p>(3) 委員会チャンネルでの意見反映 教材の方向性について委員から意見が出た際には、Slack などの委員会チャンネルに投稿し、講師側が可能な限り反映していく運用とすることで合意された。</p> <p>5. 講座運営（役割分担・スケジュール）</p> <p>(1) 2 日間の流れ</p> <ul style="list-style-type: none">・柳田委員長より、講座は表示されている 2 日間のスケジュールで進行することが確認された。・講師役はキャリアリンクの 2 名に依頼し、監督・開講挨拶などの役割分担は暫定案をもとに調整を進めている <p>(2) 開講挨拶・監督役</p> <ul style="list-style-type: none">・岡村氏の名前が挙げられていたが、当日の別会議との兼ね合いで難しいことが判明し、委員側で代役を調整することが確認された。 <p>(3) 会場手配・撮影</p> <ul style="list-style-type: none">・会場手配は麻生学園側の教員を通じて既に完了している。・撮影担当は森川委員が行う方向で各委員が了承した <p>6. 今後のスケジュール・連絡事項</p> <p>(1) 確認事項</p> <ul style="list-style-type: none">・教材完成まで約 1 か月あるため、委員からの意見反映や追加修正が可能である。必要な連絡事項は委員会チャンネルで投稿することが改めて周知された。 <p>(2) 次回委員会スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none">・12 月 17 日（水）15:00～17:00・場所等は Slack 上で調整する。